

## 教育学部の今

### 教育学部

- 学校教育教員養成課程 155名

専攻名	入学者数	専攻名	入学者数
学校教育	16	理科教育	14
国語教育	18	技術教育	7
社会教育	17	音楽教育	9
家政教育	9	美術教育	9
英語教育	8	保健体育教育	12
数学教育	21	特別支援教育	15

- 総合人間形成課程 60名(28年度以降募集停止)

### 大学院 教育学研究科

- 修士課程 12名
- 専門職学位課程(教職大学院) 14名

(人数はすべて27年度の入学者数である)

### 附属幼稚園・附属小学校

### 附属中学校・附属特別支援学校

- ・2年次：教育実習の参観
- ・3年次：教育実習
- ・4年次：教育実習(協力校)

### 教職大学院

- ・平成27年4月設置
- ・学校現場の教育活動を課題とし、研究成果を学校現場や地域に還元しながら、教員としての資質・能力の向上を目指す、実践指向型の大学院

### 教職センター

- ・教職を目指す学生への支援(教育学部のみならず、国際学部・工学部・農学部の学生も含む)
- ・教育現場への支援



宇都宮大学教育学部



附属幼・小・中学校



附属特別支援学校

### 目次

同窓会会長と教育学部長からのメッセージ	2	学生生活を振り返って	7
同窓会から学生への支援	3	今に生きる	8・9
心に残る先生や先輩	4	定期総会概況報告	10・11
懐かしい学生の頃	5	同窓会について・同窓会事務局から	12
現場からの声	6	編集後記	12

# 同窓会会長と教育学部長からのメッセージ



## 退任のご挨拶

宇都宮大学教育学部同窓会顧問

柴田 毅

故小林春雄前会長の急逝に伴い、会長職をお引き受けして3年が経ちました。もとより浅学非才、見るべきものは残せませんでした、その中で一つだけ。

駒生2丁目にあります教育会館から、宇都宮大学内に、同窓会本部事務局を移転することができました。今まで何かと疎遠になりがちでありました大学との関係も目を見張るように身近なものになってきています。

私事で恐縮ですが、身体に自信がなくなりましたので、副会長であります松本展壽先生に、バトンを引き継ぎます。感謝を申し上げ今後のご発展を祈ります。



## ご挨拶

宇都宮大学教育学部学部長

伊東 明彦

平成27年4月より学部長に就任した伊東でございます。よろしくお願いいたします。教育学部同窓会には日ごろから大変お世話になっており、厚く御礼申し上げます。

今年度は同窓会からも多くのご援助をいただき、悲願の7号館（旧音楽棟）改修がやっと始まりました。10月には竣工の予定です。新しい7号館には音楽棟としての機能に加えて、教職センターとラーニングコモンズが設置され、新しい教育学部の顔となることが期待されています。

また、今年度4月には教育実践高度化専攻（教職大学院）がスタートしました。定員15名のうち10名は県から派遣していただく現職教員を受け入れ、ミドルリーダーとしての研鑽を積んでいただくことになっています。同窓会会員の皆様にもぜひ奮って志願していただきたいと考えています。

さらに学部のほうも、平成28年度からは総合人間形成課程の募集を中止し、学校教育教員養成課程に一本化する予定です。これまで以上に教員養成に特化して地域の教育界に貢献していくための改革です。

国立大学全体が大きな変革を迫られている中で、本教育学部もめまぐるしい変化を遂げつつあります。

様々な困難も予想される中、今後とも同窓会の皆様の更なるご支援をよろしくお願いいたします。



## ご挨拶

宇都宮大学教育学部同窓会会長

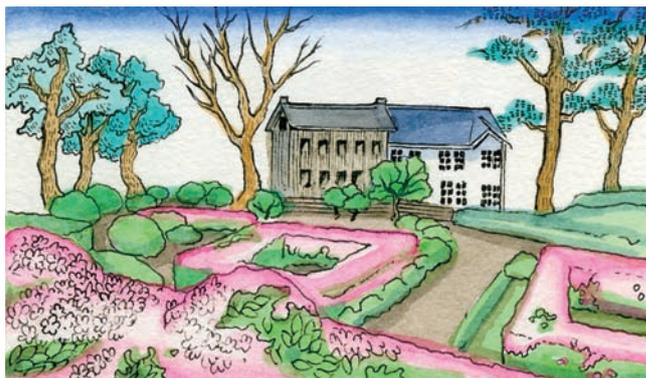
松本 展壽

私は、今年度の総会においてご承認をいただき、会長職をお受けすることとなりました。

もとより、会長の器ではないことは重々承知しておりますが、前会長のたつての願いでもありますので、次の会長が選出されるまでの間、やむなくお引き受けすることになりました。どこまで体力が続くか心配ですが、幸い副会長はじめ、役員・事務局、また各支部の支部長、役員の方々、素晴らしい皆様ですので、お力添えをいただきながら、本会のお役にたてるよう努力してまいりたいと思います。どうぞ皆様のご支援とご協力を切にお願い申し上げます。

今年度の総会は、7月5日にホテル丸治で行われました。県内各地から沢山の皆様にお出いただき、盛大に開催できました。誠にありがとうございました。ご審議いただきました、事業計画、予算に従いまして今年度の事業を推進してまいりたいと思います。

また、平成25年度からの教育学部音楽棟への寄付も今年度が最終年度となり、工事もだいぶ進んでいるようです。昨年度のホームカミングデーには、沢山の皆様のご参加をいただき盛大に行われました。次回は来年になりますが、さらに盛大に開催できますよう期待しています。今年一年間の同窓会の活動がスムーズにいけますよう、皆様のご協力よろしくお願いいたします。



フランス式庭園から望む峰ヶ丘講堂 / 美術教育専攻 小林瑞歩

# 同窓会から学生への支援

教育学部の学生の就職に役立てるよう、  
同窓会員が支援



## 論作文の指導に携わって

就職セミナー指導員

吉田 征吾

私は、ここ数年間、教員採用試験を目指す学生を対象に、論作文の添削指導に携わってきました。この論作文は大学のセミナーの席上で、与えられた課題に対して学生各自が自分の考え・ビジョンを論述したものです。後日、添削指導・個別対面指導を通して、作文そのものの表現面の指導や、課題になっている内容などについて助言します。それらを通して、学生の新鮮な声が聞けたり、論作文の課題の例えば「自己教育力を育む方策は？」など、私自身への刺激ともなり、視野が広げられたりします。

今回、教育学部卒業生の教員就職率が71.3%で全国4位との報道に接し、大学側のさまざまな支援態勢の強化が好結果に直結していると考えております。



## 教師を目指す人を応援します！

就職支援室指導員

徳永 幸子

就職支援室では「教師を目指す人を応援します！」というキャッチフレーズのもと、来室する学生の皆さんの要望に応じて様々な支援を山口史子先生と共に行っています。主な支援内容は、願書の添削、論作文の添削、教職センターの先生方の御協力を得ての面接・集団討論練習、「先輩教師の体験を聞く会」・「受験した先輩からの体験を聞く会」等の開催を通じた支援の数々です。

教採対策に取り組んでいる学生は、みな真剣そのものです。試験が終わると当日の様子を記録した用紙を持参して報告に来てくれます。後輩のために様々な情報を残していつてくれるのです。そのお蔭で「先輩からの情報ファイル」が増えています。「経験したことを後輩に」ということが、宇大生の良き伝統となって受け継がれていることを嬉しく思いつつ、更に充実した支援が行えるよう努めていきたいと思っております。



## 応援し続けてくれた支援室

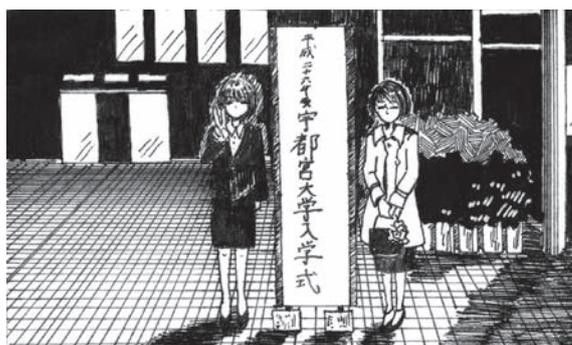
特別支援教育専攻卒 岩瀨 和美

現在私は、中学生の頃から抱いていた教師になる夢を叶え、特別支援学校の教

員として勤務しています。今の私があるのは就職支援室の先生方のおかげだと強く思っています。

始めは勉強するための資料が欲しい、そんな気持ちで支援室に通っていましたが、しかし、支援室に入る度に「また来てくれたね。」と笑顔で暖かい言葉をかけて頂きました。“先生”に見守られている、そんな懐かしい気持ちを抱いたことをよく覚えています。

教師になり数か月が経ちました。正直、うまくいかず心が折れかけることもあります。ただ、職場の先輩方、学生時代の友人に支えられながら元気な子ども達と日々向き合っています。支援室の先生方に感じた見守られているという気持ちを子ども達にも抱いてもらえるよう、日々精進していきます。



宇都宮大学入学式 / 美術教育専攻 赤沢 薫



## たくさんの先生方に支えられて

数学教育専攻卒 大貫 有香

現在、私は中学校の教員として勤務しています。先輩の先生方に支えていただきながら、毎日新たな発見をしています。不安や疲労はもちろんありますが、それらを上回る喜びや充実を感じています。

幼い頃から憧れていた教員になることができたのは同窓会の先生方の熱心なご指導のおかげです。右も左も分からなかった私に、採用試験についての情報を与え、面接・討論・小論文を一つ一つ丁寧に指導くださいました。「こんなにお世話になってもよいのだろうか？」と思ったことを覚えています。また、採用試験が近付くにつれて焦りや不安が大きくなった私に、励ましの言葉もかけてくださいました。先生方からのたくさんの支えには、感謝してもしきれません。

これから長い教員生活が待っていますが、先生方から学んだことを常に胸に、精一杯頑張っていきます。

# 心に残る先生や先輩



## 青木君は何処に？

塩谷支部 青木 友宏

「青木君はいますか？」その先生は、必ず私だけ出欠を確認し、講義を始めました。時は昭和最後の年。教育学部理科専修4年の私は、卒業研究のため太田周教授の研究室に舞い込みました。先生と助手の堀田直己先生は、それはそれは懇切丁寧に私の指導をしてくださいました。

しかし、やんちゃな私は、時折授業をすっぽかし、体験学習に励んでいました。友人たちは、「海に行ってます。」や、「紅葉狩りで日光です。」と、これまた正直に報告してくれたお陰で、ゼミの開始は温かい教育的指導からというのがお決まりでした。

あれから27年。先生方の心の広さに救われた私は、中学校の教壇に立ち、やんちゃな生徒たちと楽しい日々を過ごしています。生徒を信じ、温かく見守りつつ適時、適切な指導をすることの大切さをご教授いただき感謝しております。



戦場ヶ原での研修



## 私の心の目標

石橋支部 室井 将男

自分に教師なんて務まるのだろうか…。そう思いつつ、気付けば教職20年目を迎えました。今でも思い出すのは、教員になり立てで日々右往左往していた頃に出会った、あるベテランの先生のことです。

新採2年目、初任研は終わったものの自分の指導に全く自信が持てない私にとって、同じ学年を組んだ主任のその先生の姿は実に頼もしく映りました。学年全体の「お母さん」のような温かさ、子どもたちの心をつかむ話し方や指導法、トラブルが起きても「何とかなるわよ」と笑い飛ばす寛容さ。そして会議では担任の立場を代表し、出来ないことは無理と意見してくださいる強さ……。そんな主任がいてくれたからこそ私も安心して自分の出来ることに集中できたのでした。

学年主任を務めるようになった今でも、その先生は私の心の目標であり、支えになっています。



## 感謝の心忘れずに

日光支部 倭文 克敏

この職に就いてから、たくさんの先生方に支えられ、さまざまなことを教えていただきながらこれまでやってまいりましたが、その礎を築いてくださったのは、私の初任者指導教員を担当してくださった先生です。

初任者として赴任した日光小学校は、「学習指導と評価」の研究校としての2年目、公開発表の年でした。5年生を担任し、初任者研修、研究推進の話合いと右も左もわからず、時間に追われる毎日の中で、先生は学習指導、児童指導、学級経営等について、的確なアドバイスと「常に考えなくてはならないのは目の前の子ども」という、この仕事を続けていく上で、もっとも大切な教えをくださいました。

これからも先生の教えを忘れることなく、目の前の子どもたちに接するとともに、先生への感謝の気持ちを持ち続けていきたいと思ひます。



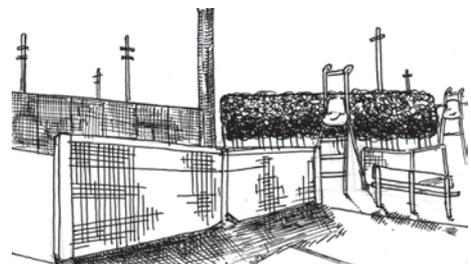
## 生徒に寄り添える先生を目指して

教職大学院 吉原 俊

私は中学校数学科の教員を目指して教職大学院に進学しました。教職大学院では現職の先生とともに実りのある学びをしています。私が院に進学をしようと思ったのは中学時代の数学の先生を思い出したからです。

その数学の先生は常に明るく全力で、生徒と真剣に向き合っていました。私が落ち込んだり、悩んだりした時は必ず声をかけてくださったのを覚えています。中学時代は気づきませんでした。中学生生活を楽しく送ることができたのはあの先生のおかげだと思います。

学部4年の時、あの先生のようになるためにはまだ学びが足りないと感じ、私は院へ進学しました。現在は生徒一人ひとりを理解するために、個に寄り添った授業観察を行っています。生徒が充実した学校生活を送れるように、私も全力で生徒と向き合っていきたいと思ひます。



峰キャンパスのテニスコート / 美術教育専攻 梅澤真彩

# 懐かしい学生の頃

大学を卒業した皆様の当時の思い出



## 思い出はいつでも

河内北支部 伊藤 由美子

80年代、今では懐かしくよい時代として取り上げられることも多いようです。私の大学生生活はその80年代に重なります。合格発表の掲示板に自分の番号を見つけたときの喜びが湧き上がる感覚は、数十年たった今でもよく覚えています。

4月から始まった大学生生活は、毎日が新しいことの連続でした。大学から自宅へ帰るバスの中では「この時間がずっと続いて欲しい」といつも思っていました。生協（当時）の南に広がるフランス式庭園、西側の古びた美術部の部室、必ず誰かが残っていた教育心理の控室、どの風景も二度と目にすることはできませんが、いつでも戻れる場所として心の中に残っています。

日々の仕事で疲れたとき、思いがけない出来事に心がざわついたとき、いつでも大学時代の思い出が私を支えてくれます。



## 80歳の宇大生

足利支部 坂本 三郎

古老（80歳間近）には、病気と薬とお酒の話題。ふと霧晴れを思わせるように吹き払い。学生の頃を思い出せば、武運長久・天下無敵の四字熟語がピタリと当てはまった。特に寮では侍がすらすら並んで采配を振っていた。良い事も悪い事も何でも教えてくれた。飯のたき方から試験の受け方・学生運動への参加方法、試験はヤット可で通過、その中で同じ釜の飯を食った仲間は今も助け合っている。本当に有難いことだ。

時は移り宇大の校門を入ると、フランス庭園があり、鉄筋の校舎が並び、食堂・広々とした運動場駐車場まで揃った大学に変身している。日々の少しずつの変化が数十年の間に大きく変化する。時の流れと一緒に過ぎ去った侍達との思い出、親身になって助け合った友達の色と匂いは褪せることなく、コンクリートとフランス式庭園の中に輝いている。



## 教員としての原点

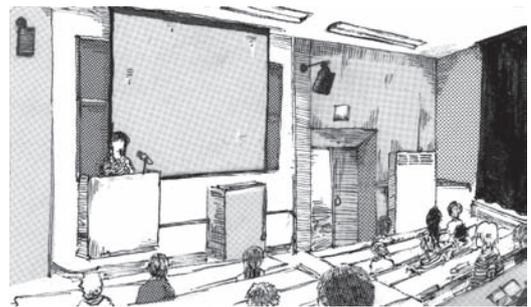
小山支部 谷田部 二三子

「原稿依頼」に同封されてきた同窓会会報の表紙にある「フランス式庭園」の写

真を見て、30年以上前の記憶が蘇ってきました。思えば、ここで毎日のように友達とお弁当を広げて、とりとめのないおしゃべりに花を咲かせていたものです。

私は、小学校教員養成課程の国語専修でしたが、あまりまじめな学生でなく、控室よりクラブの部室にいることが多かったと思います。しかし、小池先生や長尾先生の授業は、それまでの無味乾燥な文法・言語の授業とは異なり「日本語」への興味を高めてくれましたし、米田先生の近代文学では、漱石や啄木など作家の思想的背景を探りながら作品を読み解く面白さを味わいました。

教壇に立ったとき、子どもたちに言葉や文学の面白さを味わわせたいと工夫を重ねたのは、これらの経験があったからであり、これが私の教員としての原点だと思っています。



峰大教室の授業風景 / 美術教育専攻 吉永健留

## 旧講堂の部屋の思い出

野木支部 渡辺 正人

私の思い出は、旧講堂の部室で過ごしていた日々である。写真部に所属していた私は、暇な時間はよくそこにいた。本来は暗室を使うまでの、控室なのだろう。けれど、私は何をやるわけでもなく、ただなんとなくそこにいた。時には、何かの打ち上げで酒を飲んだりしたこともあったし、覚え立ての麻雀をやっている、部室の外がだんだん明るくなっていくのを経験したこともあった。とにかく、学生生活の多くの時間をそこで過ごした。

今の講堂は、あの部室群はなくなり、美しく模様替えされたい。地域の人たちにも開放されたり、映画のロケ現場になったり、文化の発信基地となっているという。しかし、私の頭の中にある映像は、ギシギシ音を立てながら歩き、立て付けの悪いドアを開け、昼間でも薄暗い旧講堂の部屋にいる自分の姿なのだ。

# 現場からの声

教職に就いている人、  
教職以外で活躍している人の  
メッセージ



## 変則複式校

真岡市東沼小学校 直井正行

創立134年目を迎える良き伝統と温かな校風の本校に赴任し、もうすぐ4か月になります。全校児童48名、2年生と3年生、4年生と5年生が複式学級で、学校全体で4クラスの変則複式校です。

全校児童の名前はもちろん、保護者、祖父母まで顔と名前が一致する学校。授業参観・保護者会の出席率は毎回ほぼ100%。地域との連携も密で、さまざまな行事が行われます。1学期に行われた地域連携行事、「ミニデイホーム訪問」を紹介します。

75歳以上の高齢者が、2つの地域の公民館にそれぞれ集まります。練習を繰り返したさまざまな出し物、学校で作ったうちのプレゼントを持ち、児童がそれぞれの公民館を訪問します。孫のような小学生と過ごす時間は、お年寄り達にとってとても楽しい時間のようで、公民館が笑顔と拍手で包まれます。

地域に守られ、育てられている子ども達に、小規模校の特性を積極的に生かした指導をこれからも行っていきたいと思います。



## 恩師の思いを後輩たちに

宇都宮大学附属特別支援学校

糸川剛士

「あなたたちが学ぶことは全て子どもたちのためである」

私が、当時の養護学校教員養成課程に入学したときに主任教授から最初に言われた一言です。卒業し、特別支援学校の教師として30年目となる現在も、この恩師の言葉は自分の基本姿勢として胸の内にあり、「子どもたちのためにある学校づくり」に取り組むという使命感の支えとなっています。

この4月、私自身も教育実習等でお世話になった附属特別支援学校に赴任しました。今年度も、教師になることを目指した熱意溢れる後輩たち、教育実習約20名、介護等体験約160名が本校を訪れ、子どもたちとの貴重な有意義な時間を過ごしていきます。そんな後輩たちと関わること

のできるこの機会に、この恩師の思いを、できれば私自身の言葉で伝えられるようにしていきたいと思っています。



教育実習時の一場面



## 大学で働くということ

大学職員 飛驒美波

私は、この春から地元の国立大学に就職しました。大学職員でイメージしていたのは学生の頃お世話になっていた学修支援課やキャリアセンターの職員さんの姿でしたが、私の配属先は附属病院でした。意外な配属先に初めは戸惑いましたが、学生や教授だけではなく患者さんとも関わる仕事なので今は責任とやりがいを一層感じています。上司や医療スタッフの指導の下、患者さんの力になれるよう日々奮闘中です。

大学生の時は大学からサービスを受ける側でしたが、今はサービスを提供する側として、未来の人材を育成する「大学」という大きな組織を支える職員となれるよう、様々な部署で経験を積み、成長していきたいです。



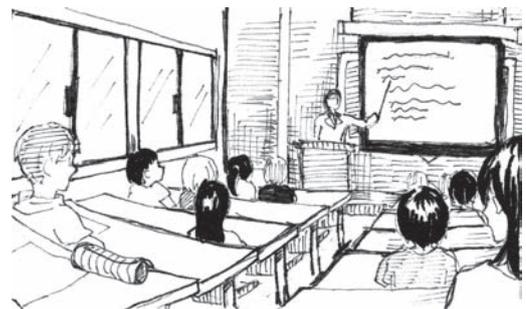
## 原点回帰

栃木第四小学校 島田隆広

今春、以前に勤めていた学校に11年ぶりに戻りました。かつての教え子たちが訪ねてくれたり、自分が心をこめてした仕事の痕跡に出会ったりする度に古巣に戻ったことの意義を噛みしめています。

先日、最後に卒業させた子の一人から「自分は受験で思い通りにならなくてへこんでいた時、小学校時代に放課後の陸上や水泳の練習で先生からかけられた言葉を思い出して頑張れた。今は挫折を経験したことがよかったと思えるようになった。」というメッセージを受け取りました。

「ひとを育てること」の面白さと同時に難しさと向き合う日々ですが、残り5年となった教員生活、さしづめ最終コーナーから最後の直線へと入ったところ、最後まで自分らしく、あきらめずに走り抜きたいとあらためて感じさせられました。



峰教室での授業風景 / 美術教育専攻 阿部風子

# 大学生生活を振り返って

大学を卒業した人と  
学生が日頃感じていること



## ひとつのことを、広い視野で 総合人間形成課程 平石 亘

私は1年後期の領域選択で芸術文化領域を選択し、美術を専攻することに決めました。あれから3年近く経つ今、心から充実した学びができたと感じられるのは、芸術が持つ魅力、よき先生、仲間そして家族に支えられたからだと思います。総合ならではの芸術の幅広さを活かした学びと、美術専攻ならではの専門性を深める学び。美術というひとつの分野に身を置きつつ、音楽、書道、または他分野とのつながりを考え、実践する。このような学びを通して、あるひとつの分野に対して幅広い視野を持って考えることができるようになったと思います。現在、美術の専門性をさらに深めて社会に返すべく、美術教育の道を目指しています。総合で得た幅広い視野と謙虚さを忘れずに、子どもの美術好きに貢献できるひとりになりたいです。



## 夢に向かって 英語教育専攻 折原 緑子

私は英語教師になりたいという夢を持ち、宇都宮大学へ入学しました。そして英語学習の奥の深さを知るとともに、大変貴重な経験をすることができました。英語教育、音声学、英文法、そして文学と幅広い分野を勉強し、多くのことを学びました。今後も専門性を高めるべく、学び続けていきたいと思っています。

また、教育実習を通して教師になりたいという思いを強くすることができました。休日や夜遅くまで熱心に指導して下さった先生方のおかげで、不安だった実習も、学びのある充実したものにする事ができました。

そして、多くのことを教えて下さった大学の先生方、寄り添ってくれた家族や友人には本当に感謝しています。これからは、人の出会いを大切に、学びや経験を生かし教師になるという夢を叶えたいと思います。



## 3年半で学んだ「家庭科」 家政教育専攻 須田 菜

大学入学前、私は「家庭科＝調理、裁縫」というイメージを持っていました。しかし、この3年半の学びは以前までの考えを大きく変え

るような有意義なものでした。

3年次の教育実習中、家庭科を教えることの難しさを実感しました。生活に非常に密接な内容を扱うためプライバシーへの配慮を十分にする必要があります。また、多面的に見ると教えたことが山ほどあります。様々な事に難しさを感じた分、子どもたちの「できるようになりたい!」という気持ちを強く受け、家庭科を広い視野で見つめながら、子どもが力強く生きていけるような指導を現場でしていきたいと感じました。

現在は住領域の研究室に所属し、防災教育について卒業論文を進めています。専門性を更に高めることはもちろん、3年半学んだ家庭科の集大成になり、現場で生かせるようなものにしていきます。



ラーニング・コモンズでの学び合い / 美術教育専攻 久保田美穂



## コミュニケーション 大学院数学教育専修 大柿 鑑人

今日、コミュニケーション能力の重要性は多くの人たちに認識されています。私はこの宇都宮大学で、教育現場を重視した授業を受けることや、公立学校や附属学校で実際に子どもたちと関わる機会を多く得ることができました。この現場を重視するカリキュラムのおかげで、私は多くの子どもたちと接することができ、授業や休み時間を通してコミュニケーションをとる難しさや重要性について深く考えることができました。

言葉のキャッチボールをすることは、簡単なようでとても難しいことです。私も相手の投げたボールをしっかり受け止め、より相手の取りやすいところに投げ返すことを意識していきたいです。時には1対1で、時には1対数十人であるこのキャッチボールは、教師と子どもたちとの信頼関係を結ぶ鍵であるということを教えていただきました。

# 今に生きる

退職し、第二の人生を  
歩んでいる人のエッセイ



## 50年ぶりの90分授業

今市支部 金田 勇  
昭和40年度卒

宇都宮大学を卒業してから50年、今秋に記念の「三七会」が開かれる。入学した年を名前にした同級会である。大学時代の思い出話に花が咲くが、なぜか真剣に授業を受けた話は出てこない。

いま、私は、7人目の孫育て支援で東京杉並区荻窪に単身赴任している。週末に今市に戻る生活だが、余暇の活用で、大学の講座を2つの大学で受講している。杉並区と大学が提携して無料で区民に開放しており東京女子大と高千穂大学で古文書学と哲学や歴史等を学んでいる。

講座は6週から15週単位で週一回開講、区民でなく区内で勤務している(?)資格で受講している。抽選をパスした100名前後の区民が真剣に学んでおり長い90分授業が眠くならないのが不思議である。

講師がパワーポイントとプリントで講義しているが、虫喰い参加型に工夫しないと今の学生は、メモも取らないと嘆いていた。中高年の聴講生は真剣に学んでいる。私も50年前の反省からかな? 遅刻・欠席ゼロで真面目な学生になれた気がする。



## 先人に感動し

佐野支部 津布久 捨三郎  
昭和26年度卒

佐野地区には、唐澤子供会という日本稀有の青少年育成団体があります。私も育成に関与してきました。今も誇りにしています。

時は1945年、日本は第二次世界大戦に敗れ、子どもたちが人生に夢や希望を持たずにいた時、佐野地方の崇敬社の唐澤山神社宮司の佐野五郎先生が佐野・田沼・葛生地域の先生方に働きかけ、自分の唐澤山を開放して子供会を組織して以来、現在まで66年余、約2万名の会員を育て、国内外に送り出しました。今尚活動が継承されていることに誇りを持ち感動しております。

子どもは、国の宝であり、国発展の礎であります。尚、唐澤子供会は、世界に目を向け活動できる人材を育成しようとボーイスカウト・ガールスカウト部も併

設されております。子どもたちに夢や希望を持たせることは教育に当る我々の使命であります。



## 三代にわたる恩恵に感謝して

宇都宮支部 高久 邦夫  
昭和32年度卒

私の家は三代にわたって、宇都宮大学教育学部に学んできた。母は大学の前身の栃木県女子師範学校を卒業し、県内の小・中学校に勤務して20年前に他界した。戦前戦後の厳しい時代の教員として苦勞の多い人生であったことをよく話していた。娘は教育学部小学校教員養成課程国語専修を卒業した。縁あって仙台に嫁ぎ、小学校の教員を続けて20年ほどになる。

私は大学卒業後一年を経て、教育学部附属中学校に勤務した。学生時代を含めて25年の長きにわたって教育学部の先生のご教授をいただいた。いわば内留ともいべき大変恵まれた環境で、国語教育をはじめ教育全般についてご指導いただいた往時をなつかしく思い出している。

退職して20年ほどになる現在は、三代にわたる宇都宮大学の教育に感謝しつつ、地域の諸活動の支援や連合退職校長会の会報発行の仕事に時間を過ごしている。また、「コスモス」入会以来35年ほど続く短歌の創作も楽しみみのひとつである。今年は戦後70年、「刈り取りし藜<sup>あかざ</sup>を道に擲<sup>なげ</sup>ちて詔書を聴きし日も杳かなる」の感を一層強くしている。



秋桜の咲く季節 / 美術教育専攻 阿部麻莉菜



**「また来てね。」に励まされて**  
藤原支部 **竹末 よし子**  
昭和35年度卒

宇大時代に私は児童文化研究会に所属し、教職についてからも役立つようにと人形劇や紙芝居等の研究をし、そのかわら農山村の小規模校を巡回して公演する活動をしていました。卒業後も地元の小学校に勤務しながら町内の人形劇サークルに入会し、休日等に保育園等で公演することもありました。

今では高齢者のデイサービスでの活動が中心ですが月1回同じサークルの相棒の腹話術、カラオケ、私の紙芝居、利用者の方々と一緒に歌う童謡等のプログラムで約1時間、利用者と共に楽しい時間を過ごします。例えば金色夜叉の紙芝居の時に「貫一さん」が利用者の〇〇さんになったり、ウグイスの鳴き声の場面では物まね上手な利用者のウグイスの声が聞こえてきたりで会場は笑い声で盛り上がります。歌も全員で元気に歌い、1時間もあっという間に過ぎ、「来月も元気でお会いしましょう。」と私たち。利用者さんからは「また来てね。楽しみにしてるよ。」と挨拶をかわします。

その「また来てね。」に励まされて約15年。これからも命の限り続けられるように、日々健康に気をつけて活動を続け、共に長生きしていきたいと思っています。



初夏の屋下がり (峰ランド) / 美術教育専攻 吉田夏希



**生き方の礎を受けた栃師予科**  
宇都宮支部 **大谷 孝吉**  
昭和29年度卒

栃木師範の附属、予科、宇大と10年間過した宝木、峰は青春の思いのつまった故郷である。

昭和23年、千葉大へいかれる担任の小倉井先生、宇高の校長になられた梅沢先生と一膳の赤飯を3つに分けて、私も頂きお別れしたこと。護国神社からバスに乗ったとき、数学の潮田先生にある質問をした。先生は、お宅の近くで降りないでそのまま駅へ行き、再びバスに乗って、私の質問に答えてくださった。

昭和30年、須賀川村の中学に赴任し、那須郡の理科

教育の指定校となり、経験の浅いのに研究主任になった。研究2年目に大学の理科教育の恩師、山内源登先生に研究の内容、方向についてご指導下さるようお願いしたところ、先生はその時学長になられていたが、電車とバスで山深い学校まで来られて、懇切な指導をして頂いた。学生のめんどろ見のいいのが日本一、これが宇大だと言われている。

今、80を過ぎて再び宇大で若い学生と講義を受けて今年の後期から5年目に入る。学生はすべて愛すべき後輩、後姿を見ながら、学生一人ひとりの、学問の探求、就職、幸せな将来の人生を祈り、歩いている。



**絆を大切に**  
那須北支部 **佐藤 育子**  
昭和39年度卒

理科の化学専攻で学んだ私が、「混声合唱団コーラス・ブーケ」を結成し、ソプラノで歌わせていただいていることに驚かれる方もいらっしゃることでしょ。

退職後、長年お世話になった地域の方々と交流を深め、楽しく過ごすことができたという願いから、呼びかけ発足することができたのです。現在38名の歌うこと、声を合わせることが好きな仲間が集まって、それぞれの歌に歌い込められている自然の美しさや文化、人々への愛、郷愁、大地への感謝など作品の詞の心を大切に歌っております。

発足12年目になりますが、一昨年は10周年ということで記念コンサートをハーモニーホール大ホールで開催することができました。これまでの温かくご指導してくださいました先生方、また、いつも私たちを見守り支えてくださる周囲の皆様のおかげと心から感謝しております。これからも思いやりと優しさを持って、心を合わせ、歌を合わせて更にパワーアップし、すてきな「混声合唱団コーラス・ブーケ」になることを願って頑張っていきたいと思っています。



パイプオルガンの伴奏で、感動も新たに

# 平成27年度 定期総会の概況

第126回宇都宮大学教育学部同窓会定期総会が、平成27年7月5日（日）にホテル丸治にて開催。石田朋康 宇都宮大学長、伊東明彦 教育学部長、和賀井睦夫 農学部同窓会長、清水由行 工学部同窓会長、叙勲受章者ほか、来賓、及び県内各支部の会員百名ほどの方々のご出席をいただき盛大に会が行われました。

山口喜雄教育学部教授からは、「宇大での美術教育実践と世界ドキュメント」の講演をいただきました。宇大着任以前の学校現場での美術教育を含む教育研究、宇大での美術科教育の授業、さらには、世界の美術教育機関や研究者との交流をふまえ、グローバルな視点を生かした研究に基づく貴重なお話を伺うことができ、先生の熱い思いが伝わりました。

## 叙勲受章者への賀詞贈呈 おめでとうございます

柿崎 龍夫 様 (秋の叙勲)	手塚 勇 様 (秋の叙勲)	増淵 茂泰 様 (春の叙勲)
金田 勇 様 (春の叙勲)	小山田公男 様 (春の叙勲)	関谷 孝 様 (春の叙勲)
中鉢 満 様 (春の叙勲)	高山きみ枝 様 (高齢者叙勲)	仁平恵美子 様 (高齢者叙勲)
山口 俊治 様 (高齢者叙勲)	松本 昭子 様 (高齢者叙勲)	橋本 昭二 様 (高齢者叙勲)
久保 政知 様 (高齢者叙勲)	星野 秀男 様 (高齢者叙勲)	大足 貞治 様 (高齢者叙勲)
中田 政雄 様 (高齢者叙勲)	小川 謙三 様 (高齢者叙勲)	大高 和 様 (高齢者叙勲)
酒井 正男 様 (高齢者叙勲)	高沼 理夫 様 (高齢者叙勲)	高野 久奈 様 (高齢者叙勲)
印南 智裕 様 (高齢者叙勲)	中山 隆雄 様 (高齢者叙勲)	

平成26年12月ご逝去

平成27年4月ご逝去

## 退任者への感謝状贈呈 お世話になりました

柴田 毅 様 (会長・宇都宮支部長)	橋本 和英 様 (副会長)	小池 正巳 様 (副会長)
川村 一恵 様 (監事)	小川 順子 様 (河内北支部長)	氷室 清 様 (上三川支部長)
人見 克也 様 (壬生支部長)	日向野 隆 様 (石橋支部長)	栃木 伸元 様 (大平支部長)
石塚 弘美 様 (野木支部長)		

## 平成27年度定期総会



退任の挨拶をする柴田前会長



挨拶をする新役員



大学歌を合唱する会員



和やかな懇親会

## 平成26年11月22日 第3回ホームカミングデーの様子

平成26年11月22日（土）第3回ホームカミングデーが行われました。

今回も、「おかえりなさい 宇大へ」というキャッチコピーの元、懐かしい宇大へ多くの方が集まってくれました。教育学部の学生が事前の準備から当日の受付案内等に参加し、スムーズな会の運営がなされました。

プレゼンテーション「教育学部の現状」は酒井一博先生、講演「地域や地域の学校との連携について」は松本敏先生、パネルディスカッション「地域や地域の学校との連携について」は、松本敏先生と学生2名が担当しました。

同窓生（県内・県外を含め）や旧教職員80余名、学長・教育学部長はじめ、先生方・学生を合わせると120名程の方々が、親しく交わり旧交を温めました。



プレゼンテーション



キャラクター「宇〜太」と



パネルディスカッション



大学歌斉唱



場所を変えての懇親会



和やかに歓談

# 宇都宮大学教育学部同窓会について

宇都宮大学教育学部同窓会は、栃木師範・女子師範・青年師範・宇都宮大学教育学部（学芸学部）が、幾多の変遷を経ながら一体となって、昭和43年に「宇都宮大学教育学部同窓会」として誕生しました。平成27年度で139年という輝かしい歴史と伝統をもつ団体です。その間、同窓生は児童・生徒の教育に情熱を傾け、教育の中心的な存在として活躍してきました。また、教育以外の分野でも、各方面で、活躍されています。

同窓会では、ねらいを「会員相互の親睦と資質の向上を図り、母校の発展に寄与する」としています。

活動内容は下記の通りです。

## 同窓会員の親睦

- 総会（県・各支部）・懇親会の開催
- 役員会・理事会等の会議の開催
- 現職会員と終身会員との話し合い・交流
- 会報（年1回）の配布
- 会員の慶弔に関する事業

## 母校である宇都宮大学への協力

- 宇都宮大学基金への協力
- 新入生歓迎会への協力
- 学生へ記念品の贈呈
- 就職対策セミナー（教員・公務員・企業等）への支援
- 就職支援室への協力
- 災害時における対応（見舞金）
- 施設の新設・改修への協力
  - ・学生のサークル活動施設の新設（コスモス）（17年度）
  - ・宇都宮大学まなびの森保育園の新設（18年度）

- ・宇都宮大学旧講堂の改修（19～22年度）
- ・教育学部音楽棟の改修（25～27年度）

## 27年度同窓会役員名簿

### 【役員】

- 客員：石田 朋靖・伊東 明彦
- 顧問：福島 茂雄・岡田 忠・柴田 毅
- 会長：松本 展壽
- 副会長：増測 茂泰・篠崎 健一・豊田 充  
小林 哲夫・竹井 誠・飯野ハツエ  
堀田由美子・人見 久城・梁木 誠  
酒井 功夫
- 監事：松尾 昭男・宇賀神玲子
- 事務局：阿久津嘉子・高尾 亮子

### 【支部長】

宇都宮	松本 展壽	河内北	伊藤由美子
上三川	柴山 洋	南河内	坂寄 国仁
西方	川島 博	今市	大塚 武夫
藤原	堀川 照子	日光	小倉 茂
足尾	上吉原明夫	芳賀	生井 孝雄
都賀	中野 哲雄	壬生	北見 修
石橋	市村 秀夫	国分寺	高山 玲子
大平	武井 健智	野木	浅香 裕子
藤岡	石川 優一	岩舟	小林眞智子
小山	癸生川 清	栃木	島田 隆広
佐野	小林 康男	足利	坂本 三郎
塩谷	高瀬 崇夫	那須北	豊田 充
南那須	星 健彦	宇大	人見 久城

## \*\*\*\*\* 同窓会事務局から \*\*\*\*\*

- 平成28年度県総会は、平成28年7月3日（日）午前10時から、ホテル丸治で開催の予定です。
- 第4回ホームカミングデーが、平成28年11月19日（土）に開催される予定です。「峰が丘祭」と同時開催です。

前は「今の学生がどんな活動をして、どんなことを考え、何を学んでいるのかの話」を聞き、頼もしく感じた。『里帰り』の気持ちを高めることができました」等の感想をいただきました。

- 平成27年度に終身会員になられた方

【宇都宮支部】川島亮子・山崎裕子・大橋幸雄・野中政治・金子光明  
大出綾子・橋本和英・谷田部智・田中政男・佐藤 仁・竹澤ひとみ  
川村一恵・五味田優子

【日光支部】小林幸男 【壬生支部】鈴木エツ子

【芳賀支部】石川喜一・田中幸子・小森紀男・大河原清子・岡崎秀充  
池田純子・高久富夫・柳 計男・飯島啓子

【小山支部】大貫義見・中山和彦 【栃木支部】星野正隆

【佐野支部】飯島安夫・山口喜美枝・猪越 勲・尾崎則子

【塩谷支部】加藤泰明・蓮見 徹

【那須北支部】高信洋一・森 京子・野崎賢治・高尾 朗・田代敏明  
後藤吉弘・荻原芳江・鈴木昌子

## 編集後記

今年度は、進村学長から石田学長へ、藤井教育学部長から伊東学部長へ、柴田同窓会長から松本同窓会長へバトンが渡されました。

同窓会が宇大の中に入ることに付いて多大な貢献をなされた柴田前会長の意志を引き継ぎ、宇大の同窓会員の方々の心に少しでも届くように、編集委員微力ではありますが、努力してまいります。

大変お忙しい中、原稿をお寄せいただいた皆様、ありがとうございました。

長い間、編集委員として、ご活躍いただいた真田和子様、たいへんお世話になりました。

### 【編集委員】

川村和生・小林純子・高尾亮子  
阿久津嘉子